

新試験範囲対応レジュメ

平成28年(2016年)6月検定試験から
日商簿記3級の出題範囲区分が少し変わります!

日商簿記3級では、主に次の3点が変わります。
大きな変更ではないので、このレジュメで
サラッと目を通しておいてください。

3級はちょっと易しく
なるだけです!



11 コマ	<ul style="list-style-type: none"> 為替手形が出題範囲外になった。
12 コマ	
14 コマ	<ul style="list-style-type: none"> 『売買目的有価証券』という勘定科目名が『有価証券』に変わった。 有価証券の期末評価が出題範囲外になった。
36 コマ	<ul style="list-style-type: none"> 5伝票制が出題範囲外になった(出るのは3伝票制だけ)。 伝票の集計という論点加わった。

11
コマ

「手形」は踏み倒せ ないんだからね

2種類ある手形の2つめ、「^{かわせてがた}為替手形」

約束手形は「私があなたにお金を払います」
という手形でした。

超シンプルな
手形であります



12
コマ

為替手形の味な使い方

「為替手形」を「約束手形」的に使う

11
コマの復習です。

約束手形…「私があなたにお金を払います」という手形

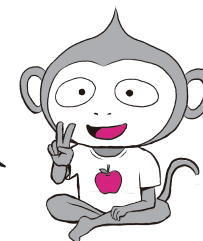
為替手形…「おい、お前あいつに金払って」という手形

でした。そして、為替手形の登場人物の相関図はこのよう
なものでした。

本書 11
コマ (P78~81)と、 12
コマ (P82~87)は
すべて試験範囲外となりました。

丸ごと削除に
なりました!!

該当ページに大きくバツテン
をつけちゃいましょう



14

コマ

株でボロ儲け

変わったのは主に2点

勘定科目名が変わったのと、期末の評価替えがなくなりました。

勘定科目名が
短くなった

期末の評価替え
が範囲外になった

これまで3級で出てくる有価証券は『売買目的有価証券』という勘定科目を使っていました。
それが2016年6月検定試験以降は、“売買目的”をつけずに単に『^{ゆうかしょうけん}有価証券』というようになりました。

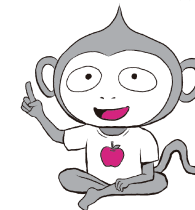
本書P99(上)の、④のタイミングは試験範囲外になりました。
よって、P103とP104が試験範囲外となります。
『有価証券評価益』と『有価証券評価損』という勘定科目も試験範囲外になります。

書くのが少し
楽ですね

読み替えるだけで
OKですよ



P103と104には
大きくバツェンを
つけちゃいましょう



36
コマ

第4問対策～伝票会計

変わったのは主に2点

5伝票制が試験範囲外になり、3伝票制だけになりました。
また、伝票の集計という論点がありました。

5伝票制が 範囲外になった

5伝票制は試験範囲外になったので、
本書 P299～305 は範囲外になります。
また、P293の説明のうち、「売上伝票」と「仕入伝票」の
説明は読まなくて大丈夫になります。



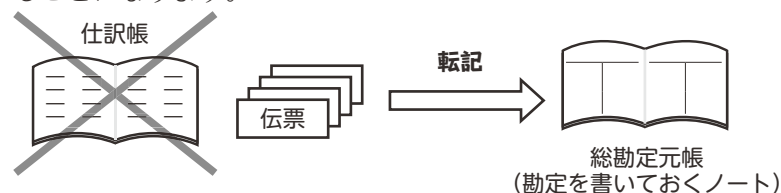
いらんとこは
線を引っ張って
消しちゃいましょう

伝票の集計が 加わった

2016年6月検定以降は、3伝票制における、
伝票の集計が試験範囲に入ります。

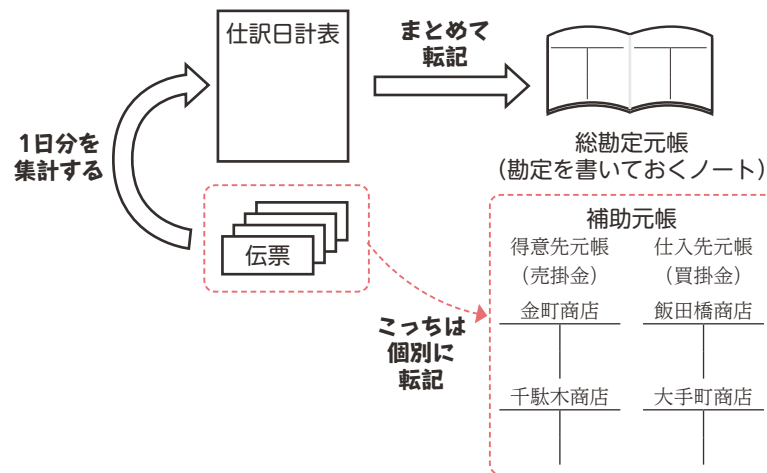
●伝票を使っている会社の帳簿の流れ●

伝票に仕訳を記入していれば、転記は伝票から総勘定元帳へ行われることになります。



このとき、伝票に記入する度にいちいち転記しては大変ですし、
転記ミスも起きがちです。

そこで、1日分の伝票は集計して、表にまとめて転記します。
この1日分の伝票を集計した表を、仕訳日計表といいます。



ここで、総勘定元帳とは別に、
それを補助する明細として補助元帳も作ります。
『売掛金』勘定と『買掛金』勘定を商店ごとに把握する得意先元帳、
仕入先元帳と呼ばれるものです。こちらは、伝票から個別に転記が
行われます。

設例 36 新-I

久野商店では3伝票制を採用している。10/15の取引についての伝票は次のとおりであった。

入金伝票 No.101 売掛金 16,000	出金伝票 No.201 買掛金 12,000
入金伝票 No.102 借入金 60,000	出金伝票 No.202 有価証券 9,800
振替伝票 No.301 受取手形 23,000 売掛金 23,000	

伝票を集計し、仕訳日計表を作成しなさい。

答案用紙

仕 訳 日 計 表
平成 28 年 10 月 15 日

借 方	元丁	勘 定 科 目	元丁	貸 方
	(現 金	(
	省	受 取 手 形	省	
		売 掛 金		
		有 価 証 券		
	略	買 掛 金	略	
)	借 入 金)	

解 説

Step 1 伝票から仕訳を考える

伝票を読んで、そこから仕訳を考えます。

入金伝票	
現 金 (76,000)	売 掛 金 (16,000)
	借 入 金 (60,000)
出金伝票	
買 掛 金 (12,000)	現 金 (21,800)
有 価 証 券 (9,800)	
振替伝票	
受 取 手 形 (23,000)	売 掛 金 (23,000)

Step 2 仕訳を集計する

Step 1 で書き出した仕訳を集計して、1つの表(仕訳日計表)にまとめます。

解 答

仕 訳 日 計 表
平成 28 年 10 月 15 日

借 方	元丁	勘 定 科 目	元丁	貸 方
76,000	(現 金	(21,800
23,000	省	受 取 手 形	省	
		売 掛 金		39,000
9,800		有 価 証 券		
12,000	略	買 掛 金	略	
)	借 入 金)	60,000
120,800				120,800



『売掛金』のうち金町商店に関するものだけを抜き出したT勘定だと考えれば、難しくはありません。

金町商店	
25,000	22,000
17,000	

設例 36 新-2

次の伝票を読み取り、得意先元帳に記入しなさい。

入金伝票 売掛金(金町商店) 22,000	No.101	振替伝票 売掛金(金町商店) 17,000 売 上 17,000	No.301
出金伝票 買掛金(飯田橋商店) 30,000	No.201		

答案用紙

(得意先元帳)

金 町 商 店						
平成 28年	摘 要	仕 丁	借 方	貸 方	借 貸	残 高
8 1	前月繰越	✓	25,000		借	25,000
〃	入金伝票	101			〃	
〃	振替伝票	301			〃	

解 答

(得意先元帳)

金 町 商 店						
平成 28年	摘 要	仕 丁	借 方	貸 方	借 貸	残 高
8 1	前月繰越	✓	25,000		借	25,000
〃	入金伝票	101		22,000	〃	3,000
〃	振替伝票	301	17,000		〃	20,000

なお、伝票に記入されている取引を仕訳にすると、次のようになります。

入金伝票	現 金 (22,000)	売掛金(金町商店) (22,000)
出金伝票	買掛金(飯田橋商店) (30,000)	現 金 (30,000)
振替伝票	売掛金(金町商店) (17,000)	売 上 (17,000)

●模擬試験問題編●

本テキスト 40 の模擬試験問題において、試験範囲変更の影響があるのは『売買目的有価証券』についての2箇所です。

【第1問5. について】

勘定科目を『売買目的有価証券』→『有価証券』に読み替えて下さい。

【第5問8. について】

有価証券の評価替えは試験範囲外になったので、全員正解として扱ってください。